

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：生涯学習課

施策名	15 人権
政策名	「まち」を共に創る
施策がめざす将来の姿	・ 互いを認め合い、尊重し合うことにより、あらゆる差別のない社会が実現しています。

③ 施策評価指標

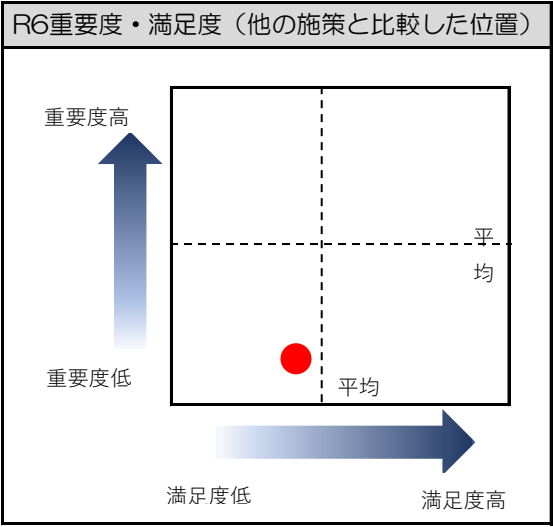
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標		
人権講演会への参加者数	人	55	240		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	73	54			

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和6年度
100

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和5年度		令和6年度
93.5	➡	92.5

※増減（→）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

人権にかかわる問題は社会の変化とともに様変わりし、新たな差別も生じているため、従来の方法にとらわれず、状況に応じて効果的な課題解決策を図らなければなりません。市民意識調査で明らかとなった人権に関する現状や課題を「第3次関市人権教育・啓発に関する基本計画」に反映させるとともに、より効果的な人権施策に取り組んでいく必要があります。人権問題についてより多くの市民が人権尊重の重要性について考えていただけるよう、テーマや啓発機会を工夫して取り組みます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：人権教育啓発推進事業

R6決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
2,138				人権擁護委員の皆さんとともに、人権推進校への重点的な働きかけと、市民に伝えたい人権の観点を絞るなど内容を吟味しながら、伝えるための方法を工夫し、講座や啓発活動を継続していきます。	